

新刊



児童書
くいしんぼうのサンタクロース
 (小学1〜2年生向け)
 中川 ひろたか 作
 (教育画劇)

食欲の秋。山に出かけていったサンタさんは、豊かな山の幸に大喜び。ところが道に迷って、お家に帰れなくなってしまう…。サンタさんとトナカイのルドルフのかけあいが楽しい、ワイドページ付きのしかけ絵本。



一般書
トマトの歴史
 クニツヅカ・ハイマン 著
 (原書房)

ヨーロッパに伝わった当初は「毒がある」とされた南米原産のトマトは、いかに世界に広まったか。イタリアの食文化、「野菜か果物か」裁判、伝統＆最新の品種など、知られざるトマトの歴史を紹介する。レシピ付き。



一般書
親の健康を守る実家の片づけ方
 永井 美穂 著
 (大和書房)

親のためにできるのは、きれいに掃除するための片づけではなく、危険をなくす片づけです！実家の高齢の親が健康、安全に暮らすために、娘や息子ができる片づけの方法を、イラストを交えて具体的に紹介します。



一般書
水墨で描くやさしいはがき絵
 塩澤 玉聖 著
 (日貿出版社)

水墨画の基本を丁寧に解説して好評の著者が、彩り豊かな四季の草花と日本の風物、年賀状のお手本として最適な十二支を、簡潔な筆法で描き上げた「はがき絵」の手本集。基本描法も写真で詳しく解説する。

豊山俳句クラブ 青山克己 選

まつすぐに続く参道秋の宮
 山下敬太

村の子や風の裂け目に曼珠沙華
 田村多喜子

紫蘇の美の「もうはじけた」と人の声
 坪井昭子

茜空だあれもない村の道
 谷崎 琴

瘦せ秋刀魚織部の皿は青々と
 東海林宗義

風に立つ芒は芒でありにけり
 杉浦みどり

夕焼けて今日の日終はりけり
 岡島 齋

捨てきれぬ遠い故郷赤とんぼ
 青山とも子

落葉から聞こえてきますわらべ唄
 水野真弓

曼珠沙華キツネと消えた女の子
 石黒貴代子

林檎剥き北の大地に思い馳せ
 黒澤裕子

いつせいに風によじれる芒原
 高木須磨子

半眼のまなざし深く秋灯下
 坪井径子

かの国に戦のほひ曼珠沙華
 青山克己

豊山歌壇 水野笑子 選

童謡を歌へば心地穏やかにゆつたりとした景色浮かびぬ
 荒川昌枝

水撒けば水吸ひ乍ら自づから現れ光る芝生の緑
 小出寿枝

城山の眼下を流れる千曲川に炎天に煌めく古里の街
 中澤芳子

シャボン玉は野口雨情の哀しみと知りて歌へば尚悲しかり
 一柳千鶴子

童謡も叙情も潤る今の世は月の物語の兎は何処へ
 柴田満枝

老いたれど短歌のいつみ潤れずして詠めば幸せ年齢を忘れて
 山田 米

戦ひの世を生き延びて九十の坂登り初む誕生日なり
 渡辺トヨ子

遺伝子は孫の代へと引き継がれ戦ひ無き世の力にと望む
 水野笑子

夕明りの残る狭庭に冷えし風処暑を過ぎたる三日目の今日
 水野笑子

童謡を歌ひ継ぐ人まれとなり幼日の学芸会を思ひ出す今
 水野笑子

原稿の文字は緊張に書きこめる永年の馴れにも横着はなく
 水野笑子

編集後記

高齢者もパソコンやスマートフォンを活用すると豊かな暮らしにつながる。高齢者施策で町と連携している名古屋大学の先生からそのようなお話を聞いた折、ちょうどそれを裏付けるような人がいることを書籍で読んだ▼東京都生まれの若宮正子さんは、81歳でスマホアプリを開発した。アップル社のティム・クックCEOも注目し、同社主催の世界開発者会議に招かれた「世界最高齢プログラマー」としてご存知の方もみえるかもしれない▼そんな若宮さんもパソコンをはじめた58歳のときは知識ゼロ。お店の人に聞いたり、メーカーに電話をしたりして、ようやくパソコン通信、今でいうSNSをできるようになった。SNSを通じて、若宮さんの交流範囲は飛躍的に広がる。ちょうどその頃、母親に認知症の症状が始め、介護生活が始まる▼10年に及ぶ介護生活も、パソコンで広がる日本中の人のおしゃべりが気分転換につながったそうだ。スマホアプリの開発も、チャットで出会ったIT企業の社長から教えてもらいながら行った▼町では、1月からシニアのための大学「健康長寿大学」を開催する。定員があるものの、スマホを使ったICT教室も開催する。ご興味のある方は、地域包括支援センターあおぞらに一度お問い合わせを。